

## 第20回 キャリアコンサルティング技能検定2級論述解答例（中里）

2018/6/17 実施分

問1 相談者がこの面談で相談したい「問題」は何かを記述せよ。（20点）

インターンシップに応募したいと思い説明会に参加し、自己分析を進めておくことや働きたい業種を絞り込むことが大切と言われたが、具体的にどうすればいいのかわからなくなり困っていること。

問2 キャリアコンサルタントとしてあなたが考える、相談者の「問題」は何かを記述せよ（20点）

インターンシップには何のために参加するのかという、その先にある就職に目を向けられず、インターンシップ応募に関する現時点での問題に巻き込まれていて、将来的なキャリアビジョンが明確でないこと。また、自身の適性や仕事に関する知識や情報も十分でなく、自己理解、仕事理解不足であると思われる。

問3 あなたは、上記2つの「問題」を合わせ、相談者を援助するために、①どこに目標をおいて、②どういうことを実施したいか、あなたの具体的な方策を記述せよ。（60点）

- ① インターンシップのその先にある就職に目を向け、自身のキャリアビジョンを明確にすることで、インターンシップの意義を再確認し、書類等の準備について自ら前向きに就職活動に向けて動けるよう支援していくこと。
- ② 卒業後の就職に向けてインターンシップ参加など、積極的に取り組んでいる姿勢を支持する。そのうえで、今の大学・学部を選んだ理由や大学で学んできたことを振り返ることで自身の強みや興味、関心について明確にし、将来的な職業について考えてみることを促す。また、自身の適性や興味関心について、本人が希望すれば職業適性検査等を実施することを勧める。将来のキャリアビジョンを明確にしたうえで、どういったインターンシップに応募するのか、自ら選択できるよう支援していく。